

高年齢者の経験を活かし、あたたかい看護を

医療法人 万成病院

所在地 岡山県岡山市
創業 昭和29年7月
業種 医療業
従業員数 458人

定年及び定年後の継続雇用制度

- 定年 60歳
- 定年後、一定条件の下、70歳まで再雇用

〔定年後は、希望者全員65歳まで雇用し、さらに健康で意欲がある場合は、労使協定で定めた基準により70歳まで、嘱託として再雇用している〕

- 運用実態あるいは運用の具体的な内容

〔70歳以上の継続雇用については、健康で意欲があり、必要と認めた場合に再雇用している〕

- 現在の最高年齢者 75歳

年齢別従業員数(非正規従業員はパート・アルバイト)

- 正規従業員 348人
- 正規従業員以外の従業員 110人

| ～44歳 | 45歳～54歳 | 55歳～59歳 | 60歳～64歳 | 65歳～69歳 | 70歳～ |
|-------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 220人(48.0%) | 90人(19.7%) | 42人(9.2%) | 67人(14.6%) | 29人(6.3%) | 10人(2.2%) |

- 平均年齢 46.1歳

高年齢者雇用に対する方針及び考え方

| | |
|------------------------|--|
| ● 70歳雇用に関する企業の方針及びその背景 | 病院にとっては、医療従事者の専門職として、高齢従業員の持つ、豊富な経験はもっとも重要である。 |
| ● 高年齢者雇用のメリット | 長年の経験を活かして、若年者の指導・教育に役立っている。 |

70歳従業員の就業状況(代表者1～2名について)

| | Aさん(70歳) | Bさん(75歳) |
|----------------|-----------------------------------|------------------------------|
| ● 雇用形態及び勤務形態 | 嘱託 | 嘱託 |
| ● 労働時間 | フルタイム | フルタイム |
| ● 職務内容 | 看護補助者 | 看護師 |
| ● 賃金 | 190,800円 | 381,800円 |
| ● 本人の声(意見・要望等) | 健康状態が良好であり、仕事にも慣れているので、出来る限り勤めたい。 | この年迄勤務することができて、看護師として大満足である。 |
| ● ともに働く従業員の声 | 患者、職員ともに評判がよく、指導もしてもらえて、助かっている。 | ベテラン中のベテランであり、指導をいただいている。 |

高齢者の雇用施策の現状

| | 60歳～69歳 | 70歳～ |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ● 雇用形態及び勤務形態 | 嘱託 | 嘱託 |
| ● 賃金制度の内容 (月給制、日給制、歩合制等) ◆ 平均賃金額 (およその額) | 月給制(職種により違いがある) 定年時より2割カット(原則) | 月給制(職種により違いがある) 定年時より2割カット(原則) |
| ● 配置・職務内容 | 定年時と配置、職務内容は同じ | 定年時と配置、職務内容は同じ |
| ● その他配慮事項 | 短時間労働を希望の場合は、行っている。 | なるべく、肉体的に負担がかかる部署に配属する。 |

60歳以降もいきいき元気に働くための従業員への施策

| | 60歳前 | 60歳以降 |
|------------|---|-------|
| ● 職務・能力開発面 | 院内研修、院外研修の実施、必須の研修は4回 | |
| ● モラールアップ面 | 接遇研修会 年1回 9月は、接遇月間、全員参加 | |
| ● 健康管理面 | 年1回健康診断、看護部は年2回。診断結果により要検査は産業医よりアドバイス・結果の報告 | |
| ● その他 | 健康状態により、勤務時間・勤務日数の短時間等に切替可能としている。 | |

これから70歳雇用に取り組む企業へのアドバイス

病院の運営は、人材の活用がもっとも重要であります。当院では、定年後は希望者を65歳まで継続雇用し、その後も本人が希望すれば面談の結果、70歳まで再雇用を行うこととしています。また、職種によっては健康で元気でいつまでも働きたいとの希望があれば、70歳以上でも必要と認めれば若い従業員の研修や人材育成等にかかわっていただいております。本人の定年後の希望を聞き、病院側と十分に話し合い、双方納得のいく条件の設定が必要だと思います。また、職場満足度調査やストレスチェックなどを行い、分析・活用し、よりよい職場作りを心がけることが重要ではないかと思います。